

開館時間 (火)～(金) ▶ 9 時～17 時
(土)・(日) ▶ 9 時～16 時

休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始 7 日(月)、14 日(月)

■問い合わせ 多久市立図書館 ☎75-2233 21 日(月)、28 日(月)

【7 月の休館日】

図書館へ行く！

～Taku City Library Information～



「おすすめの新着本」

炭鉱とともに生きた主人公の情景豊かな回顧録

ボタ山であそんだころ

著・石川 えりこ
(福音館書店)



昭和40年頃の福岡の炭鉱が舞台のお話です。小学3年生のえりちゃんは炭鉱の町に住んでいます。石炭を拾ったり、豆炭を作ったり、ボタ山に登ったりと、楽しく過ごす毎日でしたが、ある日、炭鉱で事故が起こります…。丁寧な絵が、心に響いてくる絵本です。

おやすみあとの
ヒミツの読み聞かせ

きょうのえほん

著・いもこ よしこ
(金の星社)



たっちゃん眠る前に本を読んでもらいます。たっちゃんがねてしまうと、ぬいぐるみのくまさんがそっと、本をおもちゃ箱にもっていくきました。くまさんはおもち箱の中のものに本を読んで聞かせていたのです。かわいらしい絵とお話です。

涼を呼ぶとっておきの
怪談実話集・・・

怪談を書く怪談

著・加門 七海
(KADOKAWA)



暑い夏にぴったりの背筋がヒンヤリする怖い話が3篇おさめられています。言葉にしただけ文章にしただけで、実体化しそうな恐怖の数々。本に付けられた帯に怪談実話集とありましたが、本当でしょうか…。

図書館からのお知らせ

【感想文課題図書が揃いました】

より多くの人に利用していただくために、貸し出しは、ひとり1冊1週間にします。ご協力をお願いします。

【図書館豆知識】

今から約2,600年前のメソポタミアに図書館があり、文字を刻んだ粘土板を貸し出していたそうです。

日本の図書館の起源は、奈良時代の和朝廷が書物や文書の記録や保管を行うために設けた「図書寮」がはじまりとされています。今も昔も変わらず、様々な書物や記録を保管するということは、図書館の役割のひとつです。

■日時 7月24日(木)
13時30分～15時30分
■場所 中央公民館視聴覚室
■定員 20人(申込順とします)

「夏休み子ども工作教室」 スローロケット&もこもこおぼけ

児童向き

- ◆1等星図鑑 (藤井 旭)
- ◆折り紙あそび (いしばし なおこ)
- ◆カーヤカの一歩 (高嶋 清明)
- ◆小学生のための論語 (齋藤 孝)
- ◆なにかからできているでしょーか? (大森 裕子)

一般向き

- ◆スピードの3 (朝井 リヨウ)
- ◆長女たち (篠田 節子)
- ◆体がキレイになるリンパストレッチ (加藤 雅俊)
- ◆デジタル写真撮影の教科書 (川合 麻紀)
- ◆ヒーロースーツの作り方 (ヒーロースーツ制作委員会)

「その他おすすめの本」

市交際費の支出状況

▶平成26年度5月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔 慰	今月分	1	5,000
	累計	2	15,000
見舞い	今月分	0	0
	累計	1	10,000
御 祝	今月分	3	10,200
	累計	8	28,800
賛 助	今月分	1	4,000
	累計	1	4,000
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接 遇	今月分	2	11,329
	累計	2	11,329
会 費	今月分	3	14,000
	累計	10	49,500
その他	今月分	0	0
	累計	1	3,400
合 計	今月分	10	44,529
	累計	25	122,029

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課 秘書係 ☎75-2115

人権教育 No. 207

とむ生

一人では生きて

ゆけないから

中村雅俊さんの代表作に「ふれあい」という歌があります。「何気ない心のふれあいが、幸せをつれてくる」「人はみな 一人では 生きてゆけないものだから」この歌詞は多くの示唆を与えてくれます。

地域社会で暮らす私たちは常に相手を必要とします。そこには秩序・協力・協働・支えあい・相手を思いやる気持ちなどがないとうまくゆきません。一人では生きてゆけない世の中は共に助け合うことが大切で、地域で共につながっていると実感できる雰囲気大切です。

困の影響を受けて事実を見る目が曇ってしまうこともあります。そうならないためには、人権感覚を身に付けることが大切です。抱かれた赤ちゃんのように、一人の人間として大切にされているという実感を持つことができれば、自己や他者を尊重しようとする感覚が育つのではないのでしょうか。

しかし、共に生きるためには人権感覚が必要ですが、言葉による説明だけで身に付くものではありません。また、根拠の有無を自分で判断するためには、正しい知識や事実を積み重ねた歴史を知ることが必要です。誰もが必要とされ認められていると実感を持てる地域社会を目指して、多久市では、人権感覚を磨くために、誰もが参加できる「心のセミナー」を11月まで開催しています。

多久市人権・同和教育推進協議会
会長 川内丸信吾